

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	奥州市文化会館、奥州市文化会館分室	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	一般財団法人奥州市文化振興財団	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	芸術文化の普及振興を図り、市民生活の向上に寄与するため。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	大ホール・中ホール・展示室・リハーサル室・会議室2・和室3・練習室3		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市文化会館	161,970	150,957	140,983	147,816	104.8	
奥州市文化会館分室	10,462	9,642	10,382	8,626	83.1		
(計)	172,432	160,599	151,365	156,442	103.4		
〔利用者の増減理由〕							
ホール等での公演入場者とその他施設の一般利用者が、共に年間を通じて堅調に推移したものの。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	125,930,000		125,930,000	歳入	使用料		使用料	27,628,500	
	利用料金	27,103,200		27,103,200		賃貸料		賃貸料		
	自主事業	18,712,958		18,712,958		その他		その他		
	雑収入	5,833,294		5,833,294		計(A)	0	計(A)	27,628,500	
	計	177,579,452	0	177,579,452						
	支出	人件費	51,921,544		51,921,544	※経常的 歳出	指定管理料	125,930,000	人件費	13,269,105
		需用費	36,858,374		36,858,374		委託料		委託料	90,555,348
		役務費	2,195,213		2,195,213		需用費		需用費	
		委託料	68,204,564		68,204,564		その他		その他	72,342,070
		使用料・賃借料	7,532,231		7,532,231		計(B)	125,930,000	計(B)	176,166,523
		租税公課	5,188,851		5,188,851	支出(B-A)	125,930,000	支出(B-A)	148,538,023	
		その他諸費	3,525,472		3,525,472	※臨時的 歳出	維持修繕費	2,408,500	維持修繕費	
		計	175,426,249	0	175,426,249		備品購入費	84,700	備品購入費	
損益	2,153,203	0	2,153,203	計(C)	2,493,200	計(C)	0			
職員配置	常勤職員		3人	市の正職員		2人				
	非常勤職員		9人	市の臨時・非常勤職員		人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	27,950,300	847,100	27,103,200							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		29.6%	R1年度指定管理者損益	2,153,203円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		805.0円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			22,608,023円	評価		
				〔行革効果額の積算根拠〕				5		
				R1	H30	比較				
	・直當時との比較では、経費を抑制できている。 (22,608千円、15%の減)			直営支出額	148,538,023	148,538,023	0			
				市支出額	125,930,000	125,367,000	563,000			
			効果額	22,608,023	23,171,023	△563,000				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・施設運営業務 ・施設管理業務 ・指定管理者企画事業 一般芸術鑑賞事業の実施 市民参加型事業の実施 ・その他業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確な修繕、適正な維持管理が行われていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者により保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	職員及び専門業者により行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	概ね適正な使用だったと認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	公立文化施設賠償責任保険へ加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	概ね適正な管理だったと認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例等に基づき適切に執行され、公平性も確保されていると認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報紙、情報誌、HP等を活用した広報活動が行われている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	対応時のトラブルはなく、迅速で確実な対応がなされている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	迅速な対応が取られている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	多彩な事業を企画・実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書により確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡・対応が迅速に行える体制であることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網・対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	年4回実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	事業に関するアンケート ほか	
	調査結果	施設及び設備、スタッフの対応等に関することについて寄せられた。		
	要望・苦情等	良好とする評価	職員の対応が良好であることを確認した。	
	苦情・改善要望等	特になし		
				3

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	5	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、直営時と比較して経費を大幅に抑制できており成果を上げている。 ・指定管理者が有する知識、経験を生かして、多彩な事業を企画、開催しており、多くの市民に鑑賞機会を提供するなど、利用者サービスに努めている。 ・奥州市文化会館分室は、身近で多目的に利用できる美術館として市民に親しまれている。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	継続的な事業の開催	多種多様な事業を開催し、地域のニーズを的確に捉えている	継続的な事業の開催

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	江刺体育文化会館	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	特定非営利活動法人いわてルネッサンス・アカデミア	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	市民の心身の健全な発達と文化の向上に資するため	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	ホール、会議室		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺体育文化会館		38,993	40,529	41,638	33,354	
							3
	(計)	38,993	40,529	41,638	33,354	80.1	
〔利用者の増減理由〕							
新型コロナウイルスの影響により例年施設利用の多い3月の利用者が大幅に減少したことによる。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	27,646,000		27,646,000	歳入	使用料		使用料	11,790,068	
	利用料金	1,129,627		1,129,627		賃貸料		賃貸料	56,663	
	自主事業	8,378,596		8,378,596		その他		その他		
	雑収入	193,577		193,577						
	計	37,347,800	0	37,347,800		計(A)	0	計(A)	11,846,731	
	支出	人件費	8,136,068		8,136,068	歳出 ※経常的	指定管理料	27,646,000	人件費	13,373,906
		需用費	4,342,274		4,342,274		委託料		委託料	22,245,985
		役務費	690,358		690,358		需用費		需用費	
		委託料	18,770,095		18,770,095		その他		その他	11,762,900
		使用料・賃借料	1,103,513		1,103,513		計(B)	27,646,000	計(B)	47,382,791
租税公課		1,546,000		1,546,000	支出(B-A)	27,646,000	支出(B-A)	35,536,060		
その他諸費		1,483,737		1,483,737	歳出 ※臨時的	維持修繕費	4,151,840	維持修繕費		
計		36,072,045	0	36,072,045		計(C)	4,151,840	計(C)	0	
損益	1,275,755	0	1,275,755	支出(B+C-A)	31,797,840	支出(B+C-A)	35,536,060			
職員配置	常勤職員	2人		市の正職員	1人					
	非常勤職員	1人		市の臨時・非常勤職員	2人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	2,790,914	1,661,287	1,129,627							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		22.6%	R1年度指定管理者損益	1,275,755円			評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		828.9円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし			3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			7,890,060円		評価	
	・直営時より経費が抑制できている。(7,890千円、22%減)			〔行革効果額の積算根拠〕					5	
					R1	H30	比較			
				直営支出額	35,536,060	35,536,060		0		
				市支出額	27,646,000	27,401,000		245,000		
効果額	7,890,060	8,135,060		△245,000						

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営業務 ・施設管理業務 ・指定管理者企画事業 芸術鑑賞事業の企画、実施 市民文化祭の実施 ・その他業務 	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確な修繕、適正な維持管理が行われていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者により保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	職員及び専門業者によって行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	概ね適正な使用だったと認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	公立文化施設賠償責任保険へ加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	概ね適正な管理だったと認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例等に基づき適切に執行され、公平性も確保されていると認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報紙、新聞、HP等を活用した広報活動が行われている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	対応時のトラブルはなく、迅速で確実な対応がなされている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	迅速な対応が取られている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	多彩な事業を企画・実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書により確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	江刺総合支所の警備業務や江刺警察署との連携が図られている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が迅速に行える体制であることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	実効性のある計画が整備されている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	事業に関するアンケート	
	調査結果	概ね好評であり、継続の希望、今後も期待しているという意見が多数あった。		
	要望・苦情等	良好とする評価	地域のニーズを捉えており、内容が充実している事業を実施している。	
	苦情・改善要望等	老朽化した設備の更新要望が寄せられている。		
				3

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	5	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、直営時と比較して経費を大幅に抑制できており成果を上げている。 ・指定管理者が有する知識経験を生かして、多彩な事業を企画、開催して多くの市民に鑑賞機会を提供するなど、利用者サービスに努めている。 ・市民参加型事業の実施や市民芸術祭への協力、地元文化団体の育成など、地域の文化拠点として文化振興に大いに貢献している。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	安全で快適な施設運営の継続	必要な修繕等を行い、施設維持に努めた。	安全で快適な施設運営の継続

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	前沢ふれあいセンター、俳句の庵	施設所在地	前沢地域
指定管理者名	前沢商工会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	・地域の文化の向上及び福祉の増進を図るため ・俳句の里づくりを推進し、市内の芸術文化の振興に資するため	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	ホール、研修室2、和室2、リハーサル室、俳句の庵		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	前沢ふれあいセンター		43,016	45,525	44,295	44,574	
俳句の庵		832	735	742	584	78.7	
	(計)	43,848	46,260	45,037	45,158	100.3	
〔利用者の増減理由〕 ・指定管理者の工夫により各種公演等を数多く手がけ、利用者増に努めているが、ホールの一般利用の回数及び内容等により各年の利用者に増減がある。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	51,963,000		51,963,000	歳入	使用料		使用料	1,500,000	
	利用料金	1,548,840		1,548,840		賃貸料		賃貸料		
	自主事業	12,643,200		12,643,200		その他		その他	3,732,000	
	雑収入	5,478,013		5,478,013						
	計	71,633,053	0	71,633,053		計(A)	0	計(A)	5,232,000	
支出	人件費	22,067,559		22,067,559	歳出 ※経常的	指定管理料	51,963,000	人件費	33,408,900	
	需用費	11,128,045		11,128,045		委託料		委託料	17,940,221	
	役務費	2,104,662		2,104,662		需用費		需用費		
	委託料	29,980,135		29,980,135		その他		その他	12,402,847	
	使用料・賃借料	1,866,311		1,866,311		計(B)	51,963,000	計(B)	63,751,968	
	租税公課	1,818,600		1,818,600		支出(B-A)	51,963,000	支出(B-A)	58,519,968	
	その他諸費	2,667,741		2,667,741		歳出 ※臨時的	維持修繕費	676,500	維持修繕費	
	計	71,633,053	0	71,633,053			備品購入費	0	備品購入費	
損益	0	0	0	計(C)	676,500	計(C)	0			
				支出(B+C-A)	52,639,500	支出(B+C-A)	58,519,968			

職員配置	常勤職員	4人	市の正職員	3人
	非常勤職員	2人	市の臨時・非常勤職員	2人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	7,552,308	6,003,468	1,548,840

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	30.8%	R1年度指定管理者損益	0円	評価
-----------	--------------------	-------	-------------	----	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	1,150.7円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	----------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕 6,556,968円			評価	
	・前沢劇場の事務局業務を平成28年度に市から移管したことに伴う経費の増があった。 ・上記を除く比較では、直営時より経費が抑制されている。(13,819千円、24%減)	〔行革効果額の積算根拠〕				
			R1	H30		比較
		直営支出額	58,519,968	58,519,968		0
		市支出額	51,963,000	50,919,000		1,044,000
効果額	6,556,968	7,600,968	△1,044,000			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営業務 ・施設管理業務 ・指定管理者企画事業 <li style="padding-left: 20px;">一般対象の鑑賞事業の実施 <li style="padding-left: 20px;">市民参加型事業の実施 ・その他業務 	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確な修繕、適正な維持管理が行われていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者により保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	職員及び専門業者により行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	概ね適正な使用だったと認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	公立文化施設賠償責任保険へ加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	概ね適正な管理だったと認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例等に基づき適切に執行され、公平性も確保されていると認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報紙、新聞、HP等を活用した広報活動が行われている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	対応時のトラブルはなく、迅速で的確な対応がなされている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	迅速な対応が取られている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	多彩な事業を企画・実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書により確認をした。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が迅速に行える体制であることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	実効性のある計画が整備されている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練を実施したことを確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	事業に関するアンケート	
	調査結果	概ね好評であり、継続の希望、今後も有意義な事業を期待しているという意見が多数あった。		
	要望・苦情等	良好とする評価	地域のニーズを捉えており、充実した内容の事業を実施している。	
		苦情・改善要望等	老朽化した設備の更新要望が寄せられている。	
				3

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	5	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、直営時と比較して経費を大幅に抑制できており成果を上げている。 ・指定管理者が有する知識、経験を生かして、多彩な事業を企画、開催しており、多くの市民に鑑賞機会を提供するなど、利用者サービスに努めている。 ・市民参加型事業の実施や地域の各種催事の支援、市民活動への貸館事業など、市民の芸術活動の拠点施設として文化振興に大いに貢献している。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	継続的な施設事業の開催	多種多様な事業を開催し、地域のニーズを的確に捉えている。	継続的な施設事業の開催

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	胆沢文化創造センター、胆沢郷土資料館	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	特定非営利活動法人胆沢文化会館自主事業協会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	市民の教育・学術及び文化の振興を図るため	指定管理料の有無	有
施設概要	大ホール、小ホール、和室会議室、研修室2、スタジオルーム	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	胆沢文化創造センター	42,384	56,097	47,647	44,013	92.4	
胆沢郷土資料館	1,172	1,426	1,133	1,524	134.5		
(計)	43,556	57,523	48,780	45,537	93.4		
〔利用者の増減理由〕 ・事業内容等により各年の利用者に増減があるが、概ね4~5万人で安定的に推移している。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	82,186,000		82,186,000	歳入	使用料		使用料	1,440,000	
	利用料金	2,062,500		2,062,500		賃貸料		賃貸料		
	自主事業	13,457,211		13,457,211		その他		その他	14,217,835	
	雑収入	4,571,253		4,571,253						
	計	102,276,964	0	102,276,964		計(A)	0	計(A)	15,657,835	
	支出	人件費	31,781,984		31,781,984	歳出 ※経常的	指定管理料	82,186,000	人件費	34,314,581
		需用費	17,608,160		17,608,160		委託料		委託料	44,121,459
		役務費	659,980		659,980		需用費		需用費	
		委託料	40,843,266		40,843,266		その他		その他	16,581,150
		使用料・賃借料	2,370,439		2,370,439		計(B)	82,186,000	計(B)	95,017,190
租税公課		3,821,100		3,821,100	支出(B-A)	82,186,000	支出(B-A)	79,359,355		
その他諸費		5,192,035		5,192,035	歳出 ※臨時的	維持修繕費	509,850	維持修繕費	705,000	
						備品購入費	0	備品購入費		
計	102,276,964	0	102,276,964	計(C)		509,850	計(C)	705,000		
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	82,695,850	支出(B+C-A)	80,064,355			
職員配置	常勤職員	5人		市の正職員	3人					
	非常勤職員	2人		市の臨時・非常勤職員	2人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	8,028,330	5,965,830	2,062,500							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		31.1%	R1年度指定管理者損益	0円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		1,804.8円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし			3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			△ 2,826,645円	評価		
				〔行革効果額の積算根拠〕						
				R1	H30	比較				
	・胆沢劇場の事務局業務を平成28年度に市から移管したことに伴う経費の増があった。 ・上記を除く比較では、直営時より経費が抑制できている。(4,781千円、9%減)			直営支出額	79,359,355	79,359,355	0	5		
				市支出額	82,186,000	81,495,000	691,000			
			効果額	△ 2,826,645	△ 2,135,645	△ 691,000				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営業務 ・施設管理業務 ・指定管理者企画事業 一般対象の鑑賞事業の実施 市民参加型事業の実施 ・その他業務 	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確な修繕、適正な管理が行われていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者により保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	職員及び専門業者により行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	概ね適正な使用だったと認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	公立文化施設賠償責任保険へ加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	概ね適正な管理だったと認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例等に基づき適切に執行され、公平性も確保されていると認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報紙、新聞、HP等を活用した広報活動が行われている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	対応時のトラブルはなく、迅速で確実な対応がなされている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	迅速な対応が取られている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	多彩な事業を企画・実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書により確認している。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が迅速に行える体制であることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	実効性のある計画が整備されている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練を実施したことを確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	事業に関するアンケート	
	調査結果	次年度以降の事業の要望を複数寄せられた。		
	良好とする評価	苦情等は特になく、職員の対応は良好であることを確認した。		
	要望・苦情等	苦情・改善要望等	特になし。	
				3

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	5	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、直営時と比較して経費を大幅に抑制できており成果を上げている。 ・指定管理者が有する知識、経験を生かして、多彩な事業を企画、開催しており、多くの市民に鑑賞機会を提供するなど、利用者サービスに努めている。 ・市民参加型事業に積極的に取り組み、幅広い年代層に文化体験の場を提供している。 ・青少年を対象とした講座型の体験事業を展開しており、次世代の育成に寄与している。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	継続的な施設事業の開催	多種多様な事業を開催し、地域のニーズを的確に捉えている	継続的な施設事業の開催

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	奥州宇宙遊学館	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	特定非営利活動法人イーハトーブ宇宙実践センター	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	国立天文台より譲渡を受けた旧緯度観測所本館及び旧緯度観測所本館に関する資料等を市民に公開し、もって生涯学習・市民活動及び市民交流の推進を図るため	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	市民創作ルーム、シアター上映室、展示室、セミナー室		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州宇宙遊学館	18,100	19,389	19,666	25,837	131.4	
(計)	18,100	19,389	19,666	25,837	131.4		
〔利用者の増減理由〕 4月にブラックホール撮影成功という世界的な話題があって、隣接する天文台や本間所長らが注目を集めたことから、過去最高の伸び幅となった。特に直後のGWは10連休ということもあり、5月は前年の倍以上であった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支				
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)		
					歳入	歳出	歳入	歳出	
収入	指定管理料	16,240,000		16,240,000	使用料		使用料		
	利用料金	2,243,300		2,243,300	賃貸料		賃貸料		
	自主事業	0	4,891,489	4,891,489	その他		その他		
	雑収入	279,894		279,894					
	計	18,763,194	4,891,489	23,654,683	計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	12,244,398		12,244,398	指定管理料	16,240,000	人件費	
		需用費	2,796,499	3,186,375	5,982,874	委託料		委託料	
		役務費	339,523		339,523	需用費		需用費	
		委託料	1,630,764		1,630,764	その他		その他	
		使用料・賃借料	334,410		334,410	計(B)	16,240,000	計(B)	0
租税公課		830,900		830,900	支出(B-A)	16,240,000	支出(B-A)	0	
その他諸費		1,567,531	114,584	1,682,115	維持修繕費		維持修繕費		
計		19,744,025	3,300,959	23,044,984	備品購入費		備品購入費		
損益	△ 980,831	1,590,530	609,699	計(C)	0	計(C)	0		
支出(B+C-A)				支出(B+C-A)	16,240,000	支出(B+C-A)	0		
職員配置	常勤職員	3人		市の正職員	人				
	非常勤職員	6人		市の臨時・非常勤職員	人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額						
	2,549,000	305,700	2,243,300						
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		62.0%		R1年度 指定管理者損益	609,699円		評価	
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数		628.6円		事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3	
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			△ 16,240,000円		評価
	・開館当初から指定管理しているため直営との比較はできないが、指定管理第1期3年間の平均入場者10,895人と比べ、第2期の5年間は平均16,372人、第3期の4年間は平均20,185人と順調に推移している。 ・指定管理者の努力により、市支出額増以上の効果を上げているものと思われる。			〔行革効果額の積算根拠〕					3
				R1	H30	比較			
				直営支出額	0	0	0		
				市支出額	16,240,000	16,177,000	63,000		
			効果額	△ 16,240,000	△ 16,177,000	△ 63,000			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営業務 ・施設管理業務 ・企画事業 ・星空観望会、ワークショップ、講演会等の市民が直接参加する事業 ・施設を運営していくために必要な人材を養成する事業 ・学校との連携や学生向けのプログラム開発をするための事業 ・その他 	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に点検が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	概ね適正な使用だったと認められる。省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	施設賠償保険へ加入している。	-	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切な管理が行われていた。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例等に基づき適切に執行され、公平性も確保されていると認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報、地元新聞、地元FMを積極的に活用して周知を行っていた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	対応時のトラブルはなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	迅速な対応がなされている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	多彩な事業を企画・実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書により報告を受けた。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡・対応が迅速に行える体制であることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	マニュアルが整備されている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無		評価 3
		調査内容	銀河フェスタ(天文台との共催)に関するアンケート。	
		調査結果	市民のほか、県内外からの来場者も多かった。	
	要望・苦情等	良好とする評価	遊学館・国立天文台へのリピーターが多く見られた。	
		苦情・改善要望等	特になし。	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	5	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・旧緯度観測所本館や天文学に関する専門知識を有するスタッフがいる団体の運営により、施設の特性を活かした事業の展開ができています。 ・国立天文台やJAXAとの連携により、市民ニーズに迅速に応じた事業が実施されている。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	継続的な事業の開催	指定管理者企画事業としての科学教育普及活動が発展継続されている。	継続的な事業の開催

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	大鐘公園市民プール	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	一般社団法人奥州市体育協会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	市民の体力向上と健康増進を図る	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	50m×8コース、25m×6コース、幼児プール、管理棟		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	大鐘公園市民プール		6,166	4,977	4,986	4,262	
							2
	(計)	6,166	4,977	4,986	4,262	85.5	
	〔利用者の増減理由〕 天候による増減が考えられる。						

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計		R1年度決算額	市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	5,768,000		5,768,000	歳入	使用料		使用料	829,450	
	利用料金	705,780		705,780		賃貸料		賃貸料	0	
	自主事業			0		その他	523	その他	0	
	雑収入	98,962		98,962						
	計	6,572,742	0	6,572,742		計(A)	523	計(A)	829,450	
	支出	人件費	2,568,858		2,568,858	歳出 ※経常的	指定管理料	5,768,000	人件費	888,560
		需用費	2,133,846		2,133,846		委託料		委託料	5,466,000
		役務費	53,719		53,719		需用費		需用費	0
		委託料	781,488		781,488		その他	30,870	その他	63,000
		使用料・賃借料	523		523		計(B)	5,798,870	計(B)	6,417,560
租税公課		371,888		371,888	支出(B-A)	5,798,347	支出(B-A)	5,588,110		
その他諸費		0		0	歳出 ※臨時的	維持修繕費	1,373,258	維持修繕費	0	
						備品購入費	60,480	備品購入費	0	
						委託料				
計		5,910,322	0	5,910,322		計(C)	1,433,738	計(C)	0	
損益	662,420	0	662,420	支出(B+C-A)		7,232,085	支出(B+C-A)	5,588,110		
職員配置	常勤職員	0.1 人		市の正職員		0.1 人				
	非常勤職員	9 人		市の臨時・非常勤職員		3 人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	808,030	102,250	705,780							

指定管理者人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出	43.5 %	R1年度 指定管理者損益	662,420 円	評価
利用者一人当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数	1,353.4 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕			△ 210,237 円	評価
	見直しにより指定管理料が増額となり、直営当時と比較すれば若干のマイナスとなったものの、監視員の人材確保等課題も多い中、平成17年度当時の予算規模で現在直営できるかは疑問である。指定管理者導入制度のもう一つの柱である市民サービスの向上という側面から見た場合、直営と同規模の収支で民間団体によるノウハウを活かした運営が図られるとすれば、一定の効果は認められる。	〔行革効果額の積算根拠〕				2
			R1	H30	比較	
		直営支出額	5,588,110	5,588,110	0	
		市支出額	5,798,347	3,689,382	2,108,965	
効果額	△ 210,237	1,898,728	△ 2,108,965			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	小学生水泳教室（7月）	×	天候不順により開催見送り	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	自主事業未実施により未加入	△	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	通常業務として維持管理を行っていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	インターネット等を活用して周知を図ったことを認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等はなし	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	天候不順により開催見送り	△	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	開園期間月毎の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	—		
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	普通救命講習を受講したことを確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価 2
		調査内容		
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価		
		苦情・改善要望等	特になし	

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	2	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	2	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	2	
評価理由	指定管理者制度導入以来、一貫して施設の管理運営を担っていた永薬品商事(株)が前回の更新を機に撤退。新規参入団体が当初現れず、再募集によりやっと現管理者より応募を得たものであり、準備期間等余裕がない中手探りでの管理運営のスタートとなったことは評価上考慮されるべきところである。監視員の人手不足等、顕在化した人材確保の課題に対応すべく人件費の見直しを行った結果、指定管理料の増額を招いたことは、財政効果の視点上これは明らかな減退といえる。しかしながら、市内体育施設で多数指定管理者としての実績を持つ奥州市体育協会による実践的ノウハウのもと、市民サービスの維持継続につなげられたことは大いに評価できるところであり、今後は利用者ニーズの把握や効果的な自主事業の開催運営等、サービスの向上に向けた取組を大いに期待したい。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	新規参入		アンケート実施による利用者ニーズの把握、自主事業の展開

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	奥州市ふれあいの丘公園	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	一般財団法人奥州市文化振興財団	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	市民にふれあいの場を提供し、スポーツ及び文化の振興を図る。	指定管理料の有無	有
施設概要	体育館、クライミングウォール、パークゴルフ場、多目的運動広場、人工芝ゲレンデほか	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市総合体育館	100,319	106,520	114,145	114,315	100.1	
多目的運動広場	8,554	7,482	7,638	6,243	81.7		
クライミングウォール	522	321	220	211	95.9		
パークゴルフ場	15,900	16,426	18,224	15,296	83.9		
(計)	125,295	130,749	140,227	136,065	97.0		
〔利用者の増減理由〕 各種大会開催数により各年の利用者に増減があるが、前年比は横ばい状態ではあるものの新型コロナウイルス感染症拡大対策のため若干の利用者減となった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	100,924,000		100,924,000	歳入	使用料		使用料	8,637,740	
	利用料金	11,703,280		11,703,280		賃貸料		賃貸料	379,200	
	自主事業		990,000	990,000		その他	218,271	その他	0	
	雑収入	1,816,664	688,529	2,505,193						
	計	114,443,944	1,678,529	116,122,473		計(A)	218,271	計(A)	9,016,940	
	支出	人件費	29,031,809		29,031,809	歳出 ※経常的	指定管理料	100,924,000	人件費	13,525,959
		需用費	30,248,711	128,329	30,377,040		委託料	770,000	委託料	79,635,000
		役務費	1,051,307	34,366	1,085,673		需用費		需用費	0
		委託料	43,663,547		43,663,547		その他	225,036	その他	34,955,000
		使用料・賃借料	2,377,693	58,860	2,436,553		計(B)	101,919,036	計(B)	128,115,959
租税公課		2,262,300	26,796	2,289,096	支出(B-A)		101,700,765	支出(B-A)	119,099,019	
その他諸費		10,500	1,090,621	1,101,121	歳出 ※臨時的		維持修繕費	52,690,000	維持修繕費	1,199,100
計		108,645,867	1,338,972	109,984,839			計(C)	52,690,000	計(C)	1,199,100
損益	5,798,077	339,557	6,137,634	支出(B+C-A)	154,390,765	支出(B+C-A)	120,298,119			

職員配置	常勤職員	2人	市の正職員	2人
	非常勤職員	6人	市の臨時・非常勤職員	0人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	14,022,970	2,319,690	11,703,280

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	26.7%	R1年度指定管理者損益	6,137,634円	評価
-----------	--------------------	-------	-------------	------------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	741.7円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	4
----------------	------------	--------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕 17,398,254円			評価	
	・平成18年度に財団プロパー正規職員1人減に続き、19年度に市からの派遣職員1人を引き上げるなど、本制度の導入により人件費や物件費の削減に伴う経費面での効果が現れた。	〔行革効果額の積算根拠〕				
			R1	H30		比較
		直営支出額	119,099,019	119,099,019		0
		市支出額	101,700,765	101,777,834		△77,069
効果額	17,398,254	17,321,185	77,069			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		4
自主事業	キッズまつり、パークゴルフ大会、クライミングウォール教室、ラベンダーまつり、ライトトラップ昆虫採集、親子釣り大会、トレルーフェスタ、スポーツ寺子屋、エアロビクスカーニバル、室内雪合戦大会、スポーツ講習（通年）、出張スポーツ指導（通年）	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入したことを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	市広報、施設ホームページ、Zアリーナ情報誌等を活用して周知を図ったことを認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し適切な対応が取られたことを認めた。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	積極的に事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	報告書により実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	イベント開催にかかるアンケート	
	調査結果	概ね良好		
	要望・苦情等	良好とする評価	・イベントの企画内容に対する満足 ・参加者自身の反省等	
		苦情・改善要望等	特になし	
				3

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	4
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	4	
	2 経費等の状況 (行革効果)	5	
	3 事業の実施状況	4	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、人件費や物件費が抑制され行革の効果を着実に上げており、評価できる。 ・施設の特性を生かした自主事業の取り組みは、施設の設置目的でもある「体育、スポーツ及び文化の向上」に貢献しており、今後の取り組みにも期待が持てる。 ・利用者へのアンケート調査の結果は、概ね良好であるとともに、利用者からのクレームや意見に対し真摯に対応し、指定管理者として適切な管理運営にあたっていることは評価できる。 ・小規模な施設修繕は、スタッフの作業により行うなど、経費の削減に努めていることは評価できる。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	特になし	良好	特になし

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	江刺愛宕地区総合運動場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	江刺愛宕地区振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民の健康及び体力の増進を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	運動場、トイレ		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	運動場		4,835	4,887	5,070	6,985	
	(計)	4,835	4,887	5,070	6,985	137.8	
〔利用者の増減理由〕							
<ul style="list-style-type: none"> ・各種大会開催数により各年の利用者に増減がある。 ・屋外施設のため、天候による増減がある。 							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	0		0	歳入	使用料	0	使用料	0	
	利用料金	0		0		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0		0		その他	0	その他	0	
	繰入金等	323,433		323,433						
	計	323,433	0	323,433		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費			0	※経常的 歳出	指定管理料	0	人件費	0
		需用費	27,888		27,888		委託料	0	委託料	0
		役務費	295,545		295,545		需用費	0	需用費	0
		委託料			0		その他	0	その他	0
		使用料・賃借料			0	計(B)	0	計(B)	0	
租税公課				0	支出(B-A)		0	支出(B-A)	0	
その他諸費				0	※臨時的 歳出	維持修繕費	0	維持修繕費	0	
計		323,433	0	323,433		計(C)	0	計(C)	0	
損益	0	0	0	支出(B+C-A)		0	支出(B+C-A)	0		
職員配置	常勤職員			0.1 人	市の正職員			0.1 人		
	非常勤職員			0 人	市の臨時・非常勤職員			0 人		
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出			%	R1年度指定管理者損益	0 円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無			なし		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕				0 円	評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理はすべて地元が行っており、通常管理にかかる市の経費面での負担はない。 ・R1は施設修繕等なし。 				〔行革効果額の積算根拠〕				3	
						R1	H30	比較		
					直営支出額	0	0	0		
					市支出額	0	0	0		
効果額	0	0	0							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用許可に関する業務、維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	広場の保全等	維持管理作業を行ったことを確認した。	○	3
	機械・電気設備の保守点検			/	
	清掃業務	清掃美化	環境整備も含めた清掃が行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用			/	
	損害保険の加入			/	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理			
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可の適切な執行、利用者の公平性の確保		○	3
	広報やHPなどPR活動の実施			/	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなかったことを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情はなかったことを確認した。	○	
	利用者増加策の実施			/	
	施設利用状況の定期報告	年度報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	奥州市のマニュアルに準じて運用することを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施			/	
	警備業務の実施（機械警備含む）			/	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	体制が整備されていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施			/	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価
		調査内容		
		調査結果	※主に地域住民が使用する施設であり、アンケート調査の必要性が低い施設であると判断することから評価は3とする。	
	要望・苦情等			
	苦情・改善要望等			
				3

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	5	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	地区民が一体となり、グラウンド整備、草取りのほか、周辺の草刈り、剪定等、環境整備に取り組んでおり、管理状況は良好と認められる。		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	安全で快適な施設運営の継続。	振興会や地域住民の協力による環境整備等が行われている。	安全で快適な施設運営の継続。

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	藤里地区総合運動場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	藤里振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民の健康及び体力の増進を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	運動場、倉庫、トイレ、夜間照明等		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	運動場		4,350	6,481	5,280	5,707	
							3
	(計)	4,350	6,481	5,280	5,707	108.1	
〔利用者の増減理由〕							
<ul style="list-style-type: none"> 各種大会開催数により各年の利用者に増減があるが、前年比は横ばい状態である。 屋外施設のため、天候による増減がある。 							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	0		0	歳入	使用料	0	使用料	0	
	利用料金	0		0		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0		0		その他	0	その他	0	
	繰入金	163,542		163,542						
	計	163,542	0	163,542		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	15,000		15,000	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	0
		需用費	74,574		74,574		委託料	0	委託料	0
		役務費	7,942		7,942		需用費	0	需用費	0
		委託料	66,026		66,026		その他	0	その他	0
		使用料・賃借料			0	計(B)	0	計(B)	0	
租税公課				0	支出(B-A)	0	支出(B-A)	0		
その他諸費				0	歳出 ※臨時的	維持修繕費	0	維持修繕費	0	
計		163,542	0	163,542		備品購入費	0	備品購入費	0	
計	163,542	0	163,542	計(C)	0	計(C)	0			
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	0	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員	0.1 人		市の正職員	0.1 人					
	非常勤職員	0 人		市の臨時・非常勤職員	0 人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出		9.2 %	R1年度指定管理者損益	0 円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数		円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			0 円	評価		
	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理はすべて地元が行っており、通常管理にかかる市の経費面での負担はない。 R1は施設修繕等なし。 			〔行革効果額の積算根拠〕				3		
					R1	H30	比較			
				直営支出額	0	0	0			
				市支出額	0	0	0			
効果額	0	0	0							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用許可に関する業務、維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	広場の保全等	維持管理作業を行ったことを確認した。	○	3
	機械・電気設備の保守点検			/	
	清掃業務	清掃美化	環境整備も含めた清掃が行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用			/	
	損害保険の加入			/	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理			
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可の適切な執行、利用者の公平性の確保		○	3
	広報やHPなどPR活動の実施			/	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなかったことを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情はなかったことを確認した。	○	
	利用者増加策の実施			/	
	施設利用状況の定期報告	年度報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	関係法令を遵守し適正管理に努めることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施			/	
	警備業務の実施（機械警備含む）			/	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	体制が整備されていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施			/	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	無	評価
	利用者アンケート	調査内容		3
		調査結果	※主に地域住民が使用する施設であり、アンケート調査の必要性が低い施設であると判断することから評価は3とする。	
	要望・苦情等	良好とする評価		
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	地区民が一体となり、グラウンド整備、草取りのほか、周辺の草刈り、剪定等、環境整備に取り組んでおり、管理状況は良好と認められる。		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	安全で快適な施設運営の継続。	振興会や地域住民の協力による環境整備等が行われている。	安全で快適な施設運営の継続。

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	米里地区総合運動場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	米里振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民の健康及び体力の増進を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	運動場、倉庫、トイレ、夜間照明等		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	運動場		2,790	3,182	1,843	1,939	
							3
	(計)	2,790	3,182	1,843	1,939	105.2	
〔利用者の増減理由〕							
・各種大会開催数により各年の利用者に増減があるが、前年比は横ばい状態である。 ・屋外施設のため、天候による増減がある。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	0		0	歳入	使用料	0	使用料	0	
	利用料金	0		0		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0		0		その他	6,000	その他	0	
	繰入金	117,385		117,385						
	計	117,385	0	117,385		計(A)	6,000	計(A)	0	
	支出	人件費			0	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	0
		需用費	60,309		60,309		委託料	0	委託料	0
		役務費	27,076		27,076		需用費	0	需用費	0
		委託料	30,000		30,000		その他	0	その他	0
		使用料・賃借料			0		計(B)	0	計(B)	0
租税公課				0	支出(B-A)	△ 6,000	支出(B-A)	0		
その他諸費				0	歳出 ※臨時的	維持修繕費	0	維持修繕費	0	
						備品購入費	0	備品購入費	0	
計	117,385	0	117,385	計(C)		0	計(C)	0		
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	△ 6,000	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員	0.1 人		市の正職員	0.1 人					
	非常勤職員	0 人		市の臨時・非常勤職員	0 人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出			%	R1年度 指定管理者損益	0 円		評価		
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			6,000 円	評価		
				〔行革効果額の積算根拠〕				3		
				R1	H30	比較				
	・維持管理はすべて地元が行っており、通常管理にかかる市の経費面での負担はない。 ・R1は施設修繕等なし。			直営支出額	0	0	0			
				市支出額	△ 6,000	△ 6,000	0			
			効果額	6,000	6,000	0				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用許可に関する業務、維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	広場の保全等	維持管理作業を行ったことを確認した。	○	3
	機械・電気設備の保守点検			/	
	清掃業務	清掃美化	環境整備も含めた清掃が行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用			/	
	損害保険の加入			/	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理			
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可の適切な執行、利用者の公平性の確保		○	3
	広報やHPなどPR活動の実施			/	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなかったことを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情はなかったことを確認した。	○	
	利用者増加策の実施			/	
	施設利用状況の定期報告	年度報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	関係法令を遵守し適正管理に努めることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施			/	
	警備業務の実施（機械警備含む）			/	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	体制が整備されていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施			/	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	無	評価
	利用者アンケート	調査内容		3
		調査結果	※主に地域住民が使用する施設であり、アンケート調査の必要性が低い施設であると判断することから評価は3とする。	
	要望・苦情等	良好とする評価		
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	地区民が一体となり、グラウンド整備、草取りのほか、周辺の草刈り、剪定等、環境整備に取り組んでおり、管理状況は良好と認められる。		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	安全で快適な施設運営の継続。	振興会や地域住民の協力による環境整備等が行われている。	安全で快適な施設運営の継続。

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	梁川地区総合運動場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	梁川振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民の健康及び体力の増進を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	運動場、倉庫、トイレ、夜間照明等		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	運動場		1,410	1,410	1,452	1,260	
(計)		1,410	1,410	1,452	1,260	86.8	
〔利用者の増減理由〕							
・各種大会開催数により各年の利用者に増減があるが、前年比はほぼ横ばい状態である。 ・屋外施設のため、天候による増減がある。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	0		0	歳入	使用料	0	使用料	0	
	利用料金	0		0		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0		0		その他	0	その他	0	
	繰入金	195,855		195,855						
	計	195,855	0	195,855		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費			0	※経常的 歳出	指定管理料	0	人件費	0
		需用費	61,015		61,015		委託料	0	委託料	0
		役務費	4,500		4,500		需用費	0	需用費	0
		委託料	130,340		130,340		その他	0	その他	0
		使用料・賃借料			0	計(B)	0	計(B)	0	
租税公課				0	支出(B-A)	0	支出(B-A)	0		
その他諸費				0	※臨時的 歳出	維持修繕費	0	維持修繕費	0	
計		195,855	0	195,855		備品購入費	0	備品購入費	0	
計	195,855	0	195,855	計(C)	0	計(C)	0			
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	0	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員	0.1 人		市の正職員	0.1 人					
	非常勤職員	0 人		市の臨時・非常勤職員	0 人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出			%	R1年度 指定管理者損益	0 円		評価		
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕 0 円				評価		
	・維持管理はすべて地元が行っており、通常管理にかかる市の経費面での負担はない。 ・R1は施設修繕等なし。			〔行革効果額の積算根拠〕				3		
					R1	H30	比較			
				直営支出額	0	0	0			
				市支出額	0	0	0			
効果額	0	0	0							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用許可に関する業務、維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	広場の保全等	維持管理作業を行ったことを確認した。	○	3
	機械・電気設備の保守点検			/	
	清掃業務	清掃美化	環境整備も含めた清掃が行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用			/	
	損害保険の加入			/	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理			
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可の適切な執行、利用者の公平性の確保		○	3
	広報やHPなどPR活動の実施			/	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなかったことを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情はなかったことを確認した。	○	
	利用者増加策の実施			/	
	施設利用状況の定期報告	年度報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	関係法令を遵守し適正管理に努めることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施			/	
	警備業務の実施（機械警備含む）			/	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	体制が整備されていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施			/	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	無	評価
	利用者アンケート	調査内容		3
		調査結果	※主に地域住民が使用する施設であり、アンケート調査の必要性が低い施設であると判断することから評価は3とする。	
	要望・苦情等	良好とする評価		
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	2	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	地区民が一体となり、グラウンド整備、草取りのほか、周辺の草刈り、剪定等、環境整備に取り組んでおり、管理状況は良好と認められる。		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	安全で快適な施設運営の継続。	振興会や地域住民の協力による環境整備等が行われている。	安全で快適な施設運営の継続。

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	梁川地区屋根付ゲートボール場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	梁川振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民の健康及び体力の増進を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	ゲートボール場、トイレ、照明設備等		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	運動場		104	79	79	55	
							1
	(計)	104	79	79	55	69.6	
〔利用者の増減理由〕 ゲートボールに特化した施設であり、利用者は減少傾向にある。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支				
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)		
					歳入	歳出	歳入	歳出	
収入	指定管理料	0		0	使用料	0	使用料	0	
	利用料金	0		0	賃貸料	0	賃貸料	0	
	雑収入	400		400	その他	0	その他	0	
	繰入金	29,489		29,489					
	計	29,889	0	29,889	計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費			0	指定管理料	0	人件費	0
		需用費	26,889		26,889	委託料	0	委託料	0
		役務費	3,000		3,000	需用費	0	需用費	0
		委託料			0	※経常的 その他	26,283	その他	26,283
		使用料・賃借料			0	計(B)	26,283	計(B)	26,283
租税公課				0	支出(B-A)	26,283	支出(B-A)	26,283	
その他諸費				0	※臨時的 歳出				
計		29,889	0	29,889	計(C)	0	計(C)	0	
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	26,283	支出(B+C-A)	26,283		
職員配置	常勤職員	0.1 人		市の正職員	0.1 人				
	非常勤職員	0 人		市の臨時・非常勤職員	0 人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額						
	0	0	0						
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出			%	R1年度 指定管理者損益	0 円		評価	
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3	
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			0 円		評価
	・維持管理はすべて地元が行っており、通常管理にかかる市の経費面での負担はない。 ・R1は施設修繕等なし。市の歳出は敷地賃借料。			〔行革効果額の積算根拠〕					3
					R1	H30	比較		
				直営支出額	26,283	26,283		0	
				市支出額	26,283	26,283		0	
効果額	0	0		0					

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用許可に関する業務、維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	広場の保全等	維持管理作業を行ったことを確認した。	○	3
	機械・電気設備の保守点検			/	
	清掃業務	清掃美化	環境整備も含めた清掃が行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用			/	
	損害保険の加入			/	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理			
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可の適切な執行、利用者の公平性の確保		○	3
	広報やHPなどPR活動の実施			/	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなかったことを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情はなかったことを確認した。	○	
	利用者増加策の実施			/	
	施設利用状況の定期報告	年度報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	関係法令を遵守し適正管理に努めることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施			/	
	警備業務の実施（機械警備含む）			/	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	体制が整備されていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施			/	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価
		調査内容		
		調査結果	※主に地域住民が使用する施設であり、アンケート調査の必要性が低い施設であると判断することから評価は3とする。	
	要望・苦情等	良好とする評価		
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	1	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	地区民の協力により、コート整備、周辺の草刈り等環境整備に取り組んでおり、管理状況は良好と認められる。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	安全で快適な施設運営の継続。	振興会や地域住民の協力による環境整備等が行われている。	安全で快適な施設運営の継続。

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	広瀬地区総合運動場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	広瀬振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民の健康及び体力の増進を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	運動場、倉庫、トイレ、夜間照明等		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	運動場		3,703	3,750	3,761	3,840	
	(計)	3,703	3,750	3,761	3,840	102.1	
〔利用者の増減理由〕							
<ul style="list-style-type: none"> 各種大会開催数により各年の利用者に増減があるが、前年比は横ばい状態である。 屋外施設のため、天候による増減がある。 							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	0		0	歳入	使用料	0	使用料	0	
	利用料金	0		0		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0		0		その他	0	その他	0	
	繰入金	273,217		273,217						
	計	273,217	0	273,217		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	0		0	※経常的 歳出	指定管理料	0	人件費	0
		需用費	127,620		127,620		委託料	0	委託料	0
		役務費	5,597		5,597		需用費	0	需用費	0
		委託料	140,000		140,000		その他	0	その他	0
		使用料・賃借料			0	計(B)	0	計(B)	0	
租税公課				0	支出(B-A)	0	支出(B-A)	0		
その他諸費				0	※臨時的 歳出	維持修繕費	0	維持修繕費	0	
計		273,217	0	273,217		備品購入費	0	備品購入費	0	
損益	0	0	0	計(C)	0	計(C)	0			
				支出(B+C-A)	0	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員	0.1 人		市の正職員		0.1 人				
	非常勤職員	0 人		市の臨時・非常勤職員		0 人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出			%	R1年度 指定管理者損益	0 円		評価		
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕				0 円	評価	
	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理はすべて地元が行っており、通常管理にかかる市の経費面での負担はない。 R1は施設修繕等なし。 			〔行革効果額の積算根拠〕				3		
					R1	H30	比較			
				直営支出額	0	0	0			
				市支出額	0	0	0			
効果額	0	0	0							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用許可に関する業務、維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	広場の保全等	維持管理作業を行ったことを確認した。	○	3
	機械・電気設備の保守点検			/	
	清掃業務	清掃美化	環境整備も含めた清掃が行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用			/	
	損害保険の加入			/	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理			
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可の適切な執行、利用者の公平性の確保		○	3
	広報やHPなどPR活動の実施			/	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなかったことを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情はなかったことを確認した。	○	
	利用者増加策の実施			/	
	施設利用状況の定期報告	年度報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	関係法令を遵守し適正管理に努めることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施			/	
	警備業務の実施（機械警備含む）			/	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	体制が整備されていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施			/	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	無	評価
	利用者アンケート	調査内容		3
		調査結果	※主に地域住民が使用する施設であり、アンケート調査の必要性が低い施設であると判断することから評価は3とする。	
	要望・苦情等	良好とする評価		
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	地区民が一体となり、グラウンド整備、草取りのほか、周辺の草刈り、剪定等、環境整備に取り組んでおり、管理状況は良好と認められる。		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	安全で快適な施設運営の継続。	振興会や地域住民の協力による環境整備等が行われている。	安全で快適な施設運営の継続。

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	江刺中央体育館、江刺西体育館及び江刺カルチャパーク（テニスコート、多目的広場）	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	一般社団法人奥州市体育協会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	市民のふれあいの場として、スポーツ及び文化の振興を図る。	指定管理料の有無	有
施設概要	江刺中央体育館：アリーナ・トレーニングルームほか 江刺西体育館：アリーナ・ミーティングルームほか 江刺カルチャパーク：テニスコート、多目的広場	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺中央体育館	74,465	73,188	77,277	74,548	96.5	
江刺西体育館	38,802	35,065	33,040	30,356	91.9		
江刺カルチャパーク多目的広場(H29以前統計なし)			15,711	13,890	88.4		
江刺カルチャパークテニスコート	10,093	7,827	12,723	11,022	86.6		
(計)	123,360	116,080	138,751	129,816	93.6		
〔利用者の増減理由〕 各種大会開催数により各年の利用者に増減があるが、前年比はほぼ横ばい状態であるが、新型コロナウイルス感染症対策による利用制限のため、利用実績は若干減少している。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支			
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)	
					歳入	歳出	歳入	歳出
収入	指定管理料	42,180,000		42,180,000	使用料		使用料	4,904,168
	利用料金	6,719,862		6,719,862	賃貸料		賃貸料	0
	自主事業		23,500	23,500	その他	455,368	その他	0
	雑収入	927,702	41,416	969,118				
	計	49,827,564	64,916	49,892,480	計(A)	455,368	計(A)	4,904,168
支出	人件費	14,492,117	40,000	14,532,117	指定管理料	42,180,000	人件費	17,379,204
	需用費	16,567,534	13,316	16,580,850	委託料	26,400	委託料	18,061,534
	役務費	1,036,437	11,600	1,048,037	需用費		需用費	195,889
	委託料	11,165,028		11,165,028	※経常的 その他	1,491,824	その他	13,537,215
	使用料・賃借料	657,905		657,905	計(B)	43,698,224	計(B)	49,173,842
	租税公課	1,892,811		1,892,811	支出(B-A)	43,242,856	支出(B-A)	44,269,674
	その他諸費	54,000		54,000	※臨時的 歳出 維持修繕費	2,192,032	維持修繕費	2,419,756
	計	45,865,832	64,916	45,930,748	備品購入費		備品購入費	
損益	3,961,732	0	3,961,732	計(C)	2,192,032	計(C)	2,419,756	
				支出(B+C-A)	45,434,888	支出(B+C-A)	46,689,430	

職員配置	常勤職員	4人	市の正職員	2人
	非常勤職員	2人	市の臨時・非常勤職員	0人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	12,554,285	5,834,423	6,719,862

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	31.6%	R1年度指定管理者損益	3,961,732円	評価
-----------	--------------------	-------	-------------	------------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	324.9円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	--------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕 ・17年度(直営)は専任の正職員を2名配置していたが、本制度の導入により専任職員をなくすことができ、職員定数の減につながった。 ・本制度の導入による人件費や委託料の削減に伴う経費面での効果も大きく現れている。 ・H30から江刺カルチャパークが管理施設を追加しており、7,058千円の指定管理料が増額となっている。		〔行革効果額〕		1,026,818円	評価	
			〔行革効果額の積算根拠〕			4	
			R1	H30	比較		
			直営支出額	44,269,674	44,269,674		0
			市支出額	43,242,856	43,205,729		37,127
		効果額	1,026,818	1,063,945	△37,127		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	・ビーンボウリング体験教室（年1回） ・スポーツ吹矢体験教室（年1回） ・バランスボール・エクササイズ体験（年1回） ・ソフトテニス教室（年1回）	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	専門業者への委託により適切に行われた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入したことを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	樹木の剪定、草刈等が行われたことを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	施設パンフレットの配布や、広報おとしゅう等による周知を図ったことを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口等でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情を受けても当課への事案報告等を行った。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	報告書により事業開催したことを確認した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	報告書により実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価 3
		調査内容	自主事業参加者アンケート	
		調査結果	概ね良好	
	要望・苦情等	良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容 ・受講時間 ・講師対応 	
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・開催時間帯の精査 ・開催回数を多くしてほしい 	

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	4	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、人件費や物件費が抑制され行革の効果を着実に上げており、大いに評価できる。 ・施設の適切な維持管理に努め、利用者の安全確保を図っている。 ・施設の有効活用と、体力向上のため、自主事業を積極的に展開されることを望む。 ・災害、事故など発生時の対応は、連絡網等を整備し関係機関への連絡体制をとっている点は評価できる。 ・苦情やクレーム等で判断に苦慮する案件が発生した際には、担当課と積極的に協議して対応している。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートにより要望のあった自主事業の運営 ・屋外施設を使用した自主事業の展開 	計画通りに自主事業を実施した。	利用者アンケートの結果を次年度自主事業に反映させる。

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	胆沢総合体育館、胆沢野球場、胆沢陸上競技場、胆沢農村広場	施設所在地	胆 沢 地 域
指定管理者名	一般社団法人奥州市体育協会	公募・非公募の別	公 募
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継 続
施設設置目的	<small> 総体：市民の体育増進及び文化教養の向上を図る。 野球：市民の体力向上と心身の健全な発達に寄与する。 陸上：市民の体力向上及び生涯スポーツの振興に寄与する。 農村広場：住民の健康の維持増進及び憩いの場を提供するため。 </small>	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金
施設概要	体育館、陸上競技場、野球場、農村広場（テニスコート、相撲場、多目的運動広場）		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	胆沢総合体育館	35,425	41,400	39,905	39,422	98.8	
胆沢陸上競技場	16,492	14,934	13,876	13,495	97.3		
胆沢野球場	11,970	11,005	12,987	11,294	87.0		
胆沢農村広場	5,759	4,097	3,719	3,203	86.1		
(計)	69,646	71,436	70,487	67,414	95.6		
〔利用者の増減理由〕							
各種大会開催数により各年の利用者に増減があるが、前年比は横ばい状態である。 ※農はだての集いで利用者（胆沢総合体育館200人、胆沢野球場10,000人）は除いている。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支				
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)		
					歳入	歳出	歳入	歳出	
収入	指定管理料	29,018,000		29,018,000	使用料		使用料	1,234,532	
	利用料金	1,834,055		1,834,055	賃貸料		賃貸料		
	自主事業		13,200	13,200	その他	90,843	その他		
	雑収入	665,656		665,656					
	計	31,517,711	13,200	31,530,911	計(A)	90,843	計(A)	1,234,532	
	支出	人件費	7,804,338		7,804,338	指定管理料	29,018,000	人件費	17,379,204
		需用費	9,528,130		9,528,130	委託料	105,710	委託料	12,521,226
		役務費	653,420	6,160	659,580	需用費		需用費	0
		委託料	9,792,613		9,792,613	その他	65,293	その他	35,206,096
		使用料・賃借料	1,144,733		1,144,733	計(B)	29,189,003	計(B)	65,106,526
租税公課		430,600		430,600	支出(B-A)	29,098,160	支出(B-A)	63,871,994	
その他諸費		74,953	20,000	94,953	維持修繕費	3,775,200	維持修繕費	7,682,650	
計	29,428,787	26,160	29,454,947	備品購入費		備品購入費			
損益	2,088,924	△ 12,960	2,075,964	計(C)	3,775,200	計(C)	7,682,650		
職員配置	常勤職員	2 人		市の正職員	2 人				
	非常勤職員	2 人		市の臨時・非常勤職員	2 人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額						
	4,400,030	2,565,975	1,834,055						
指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出		26.5 %	R1年度指定管理者損益	2,075,964 円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数		430.4 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			34,773,834 円	評価	
	・19年度(直営)は専任の正職員を2名配置していたが、本制度の導入により専任職員をなくすことができ、職員定数の減につながった。 ・本制度の導入による人件費や委託料の削減に伴う経費面での効果も大きく現れた。			〔行革効果額の積算根拠〕				5	
					R1	H30	比較		
				直営支出額	63,871,994	63,871,994	0		
				市支出額	29,098,160	28,033,982	1,064,178		
効果額	34,773,834	35,838,012	△ 1,064,178						

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	・小・中学生野球教室	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	専門業者への委託により適切に行われた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入したことを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	パンフレットを作成し施設内に配置したことを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口等でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し迅速な対応が取られたことを認めた。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	報告書により事業開催したことを確認した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	各施設避難訓練を実施したことを確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	有	評価
	利用者アンケート	調査内容	投書箱の設置 (職員の対応、用具の整理状況、施設清掃、自主事業の希望等)	
		調査結果	概ね普通以上の回答の他、自主事業の実施に有効と思われる回答を得ている	
	要望・苦情等	良好とする評価	職員の対応、施設の清掃状況等	
		苦情・改善要望等	体育館ロビーの照明が暗いことへの指摘	
				3

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	5	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、人件費や委託料が抑制され行革の効果を着実に上げており、大いに評価できる。 ・施設の適切な維持管理に努め、利用者の安全確保を図っている。 ・利用者アンケートの結果については、施設の有効活用と市民の体力向上のため、自主事業を積極的に展開されることを望む。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	利用者アンケートを実施し、要望を取り入れた自主事業の展開	利用者アンケートは実施、自主事業については前年度の同様の内容	要望を取り入れた自主事業の展開

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	胆沢プール	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	一般社団法人奥州市体育協会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年間）	新規・継続の別	新規
施設設置目的	プール：市民の体力向上と健康増進を図る。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	プール25m7コース、徒歩プール		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	胆沢プール		4,801	4,576	4,360	3,939	
							3
	(計)	4,801	4,576	4,360	3,939	90.3	
〔利用者の増減理由〕							
天候により各年の利用者に増減があるが、前年比は横ばい状態である。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H19年度)			
収入	指定管理料	3,184,000		3,184,000	歳入	使用料	0	使用料		
	利用料金	396,500		396,500		賃貸料	0	賃貸料		
	自主事業		27,000	27,000		その他	0	その他		
	雑収入	460		460						
	計	3,580,960	27,000	3,607,960		計(A)	0	計(A)		
	支出	人件費	802,781		802,781	歳出 ※経常的	指定管理料	3,184,000	人件費	
		需用費	1,562,841		1,562,841		委託料		委託料	
		役務費	72,963	2,349	75,312		需用費		需用費	
		委託料	693,432		693,432		その他	30,870	その他	
		使用料・賃借料	46,005		46,005	計(B)	3,214,870	計(B)		
租税公課		0		0	支出(B-A)	3,214,870	支出(B-A)			
その他諸費			30,000	30,000	歳出 ※臨時的	維持修繕費	487,080	維持修繕費		
計		3,178,022	32,349	3,210,371		計(C)	487,080	計(C)	0	
損益	402,938	△ 5,349	397,589	支出(B+C-A)	3,701,950	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員			人	市の正職員		人			
	非常勤職員			2人	市の臨時・非常勤職員		人			
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	433,430	36,930	396,500							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		25.3%	R1年度指定管理者損益	397,589円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		808.3円	事業目的に適合しない支出等の有無		なし		3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			△ 3,214,870円		評価	
				〔行革効果額の積算根拠〕						
				R1	H30	比較				
				直営支出額	0	0	0			
				市支出額	3,214,870	2,910,594	304,276			
			効果額	△ 3,214,870	△ 2,910,594	△ 304,276				
・令和元年度より指定管理を胆沢体育館と切り離れた。指定管理者制度導入前の市直営決算額について、施設ごとに算出できないことから、行革効果については標準の3とした。								3		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	・小学生水泳教室	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	専門業者への委託により適切に行われた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入したことを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	パンフレットを作成し施設内に配置したことを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口等でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し迅速な対応が取られたことを認めた。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	報告書により事業開催したことを確認した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	各施設避難訓練を実施したことを確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価 3
		調査内容	施設利用者アンケート	
		調査結果	概ね良好	
	要望・苦情等	良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> ・水温が適正に管理されている ・管理人の対応が良い 	
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・通年利用できるようにしてほしい ・トイレが臭い ・ロビーが暗い 	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、人件費や委託料が抑制され行革の効果を着実に上げており、大いに評価できる。 ・施設の適切な維持管理に努め、利用者の安全確保を図っている。 ・利用者アンケートの結果を、施設の有効活用と、市民の体力向上のため、自主事業を積極的に展開されることを望む。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	利用者アンケートを実施し、要望を取り入れた自主事業の展開を望む	利用者アンケートを実施し、管理マニュアルに反映している。	自主事業の企画の拡大

令和元年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	水沢武道館、水沢弓道場	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	一般社団法人奥州市体育協会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	水沢武道館：スポーツの振興、市民の健康増進等を図る。 水沢弓道場：スポーツ振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与する。	指定管理料の有無	有
施設概要	武道館：武道室、トレーニングスペース、会議室ほか 弓道場：近的9人立、遠的6人立	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	水沢武道館	22,228	24,800	24,099	25,547	106.0	
水沢弓道場	9,168	3,748	4,881	3,948	80.9		
(計)	31,396	28,548	28,980	29,495	101.8		
〔利用者の増減理由〕							
各種大会開催数により各年の利用者に増減があるが、前年比は横ばい状態である。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	5,003,000	0	5,003,000	歳入	使用料	0	使用料	227,400	
	利用料金	1,437,195	0	1,437,195		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0	22,000	22,000		その他	108,978	その他	0	
	雑収入	143,645	0	143,645		計(A)	108,978	計(A)	227,400	
	計	6,583,840	22,000	6,605,840						
	支出	人件費	1,892,329	0	1,892,329	※経常的 歳出	指定管理料	5,003,000	人件費	888,560
		需用費	1,632,247	7,581	1,639,828		委託料	0	委託料	311,220
		役務費	61,730	5,463	67,193		需用費	382,320	需用費	0
		委託料	2,554,392	0	2,554,392		その他	930,870	その他	4,051,282
		使用料・賃借料	113,029	0	113,029		計(B)	6,316,190	計(B)	5,251,062
租税公課		178,625	0	178,625	支出(B-A)	6,207,212	支出(B-A)	5,023,662		
その他諸費		0	0	0	※臨時的 歳出	維持修繕費	1,177,000	維持修繕費	0	
計		6,432,352	13,044	6,445,396		備品購入費	0	備品購入費	0	
計	6,432,352	13,044	6,445,396	計(C)	1,177,000	計(C)	0			
損益	151,488	8,956	160,444	支出(B+C-A)	7,384,212	支出(B+C-A)	5,023,662			

職員配置	常勤職員	1人	市の正職員	0.1人
	臨時・非常勤職員	2人	市の臨時・非常勤職員	0人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	2,597,960	1,160,765	1,437,195

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	29.4%	R1年度指定管理者損益	160,444円	評価
-----------	--------------------	-------	-------------	----------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	169.6円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	--------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			△ 1,183,550円	評価
	・弓道場は本制度の導入により人件費の削減に伴う経費面での効果が大きく現れた。 ・武道館については、体育協会所有であったため運営補助金を交付していたが、平成23年4月1日に市体育協会より寄附されたことにより管理運営費を計上したため補助金以上の負担となった。			〔行革効果額の積算根拠〕				
		R1	H30	比較				
	直営支出額	5,023,662	5,023,662	0			1	
	市支出額	6,207,212	5,774,004	433,208				
効果額	△ 1,183,550	△ 750,342	△ 433,208					

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	・弓道教室 ・水沢武道館：毎週土曜日に児童生徒無料開放 ・チャレンジデー無料開放	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入したことを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	聞き取りにより適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	新聞、ポスター等での情報発信を認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等はなし	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	報告書により事業開催したことを確認した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の適切な管理、及び情報漏洩防止の指導を行っていることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	報告書により実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	施設利用者アンケート	
		調査結果	概ね良好	
	要望・苦情等	良好とする評価	・開館状況 ・職員対応	
		苦情・改善要望等	・施設設備の充実 ・利用時間の延長 ・館内清掃 等	
				3

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3		
2 経費等の状況 (行革効果)	1		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・災害、事故など発生時の対応は、連絡網等を整備し関係機関への連絡体制をとっている点は評価できる。 ・施設の有効活用と、心身の健全な発達のため、自主事業を計画的に展開されることを望む。 ・利用者アンケートを行い、ニーズの把握及び、施設管理の更なる向上を目指すことを望む。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	継続的な自主事業の開催	計画通りに自主事業を実施した。	継続的かつ積極的な自主事業の開催

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	水沢体育館、水沢公園体育施設	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	一般社団法人奥州市体育協会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日（4年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	水沢体育館：体育及びスポーツの振興、市民の健康増進等を図る。 水沢公園：市民の体力向上と健康増進を図る。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金
施設概要	水沢体育館、野球場、陸上競技場、テニスコート、相撲場		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	水沢体育館	33,980	30,212	29,992	31,989	106.7	
水沢公園野球場	5,767	5,312	8,617	5,142	59.7		
水沢公園陸上競技場	5,631	8,014	2,910	6,082	209.0		
水沢公園テニスコート、相撲場	19,193	18,176	19,388	17,235	88.9		
(計)	64,571	61,714	60,907	60,448	99.2		
[利用者の増減理由] ・各種大会開催数により各年の利用者に増減があるが、前年比は横ばい状態である。 ・屋外施設の天候による増減がある。 ・3月に新型コロナウイルス感染症防止の観点から一部利用制限を行った。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	19,656,000		19,656,000	歳入	使用料		使用料	3,589,260	
	利用料金	1,459,675		1,459,675		賃貸料		賃貸料	0	
	自主事業		25,500	25,500		その他	88,197	その他	0	
	雑収入	653,136		653,136						
	計	21,768,811	25,500	21,794,311		計(A)	88,197	計(A)	3,589,260	
	支出	人件費	7,938,158		7,938,158	歳出 ※経常的	指定管理料	19,656,000	人件費	11,210,200
		需用費	5,383,789	16,655	5,400,444		委託料		委託料	9,373,651
		役務費	317,737	2,448	320,185		需用費		需用費	0
		委託料	6,478,504		6,478,504		その他		その他	5,522,921
		使用料・賃借料	865,727		865,727		計(B)	19,656,000	計(B)	26,106,772
租税公課		698,262		698,262	支出(B-A)		19,567,803	支出(B-A)	22,517,512	
その他諸費		80,706	3,000	83,706	歳出 ※臨時的	維持修繕費	1,767,323	維持修繕費	2,497,588	
計		21,762,883	22,103	21,784,986		備品購入費		備品購入費	0	
計	21,762,883	22,103	21,784,986	計(C)	1,767,323	計(C)	2,497,588			
損益	5,928	3,397	9,325	支出(B+C-A)	21,335,126	支出(B+C-A)	25,015,100			
職員配置	常勤職員	3人		市の正職員	0.6人					
	非常勤職員	1人		市の臨時・非常勤職員	3人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	3,303,510	1,843,835	1,459,675							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		36.5%	R1年度指定管理者損益	9,325円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		325.2円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3			
行革効果	[指定管理による行革効果]			[行革効果額]			2,949,709円	評価		
				[行革効果額の積算根拠]				4		
				R1	H30	比較				
	・本制度の導入により人件費の削減に伴う経費面での効果があった。			直営支出額	22,517,512	22,517,512	0			
				市支出額	19,567,803	19,960,609	△392,806			
			効果額	2,949,709	2,556,903	392,806				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	・こども相撲教室 ・テニス教室 ・スポーツ吹矢教室	○	追加：コンディショニング教室 未実施：こども相撲教室、スポーツ吹矢教室	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入したことを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	月毎予定表及びポスターを関連施設で掲示、協会ホームページで情報発信を認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し適切な対応が取られたことを認めた。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	報告書により事業開催したことを確認した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の適切な管理、及び情報漏洩防止の指導を行っていることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	報告書により実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価 3
		調査内容	施設利用者アンケート	
		調査結果	概ね良好	
	要望・苦情等	良好とする評価	・開館状況 ・館内清掃 ・職員対応	
		苦情・改善要望等	・設備、備品の拡充 ・利用時間の延長 等	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	4	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・災害、事故など発生時の対応は、連絡網等を整備し関係機関への連絡体制をとっている点は評価できる。 ・利用者アンケートを行い、ニーズの把握及び、施設管理の更なる向上を目指すことを望む。 ・アンケートにバドミントンコートのライン引きを要望する内容があったが、それを受けて同年度内に対応された点は評価できる。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	継続的かつ積極的な自主事業の開催	概ね良好	継続的かつ利用者ニーズに沿った自主事業の開催

令和元年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	前沢いきいきスポーツランド	施設所在地	前沢地域
指定管理者名	特定非営利活動法人前沢いきいきスポーツクラブ	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	市民の体力向上及び生涯スポーツの振興に寄与する。	指定管理料の有無	有
施設概要	体育館、野球場、テニスコート、多目的グラウンド、プール、パークゴルフ場	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	前沢B&G海洋センター体育館	27,959	29,246	29,362	18,513	63.1	
前沢B&G海洋センタープール	6,685	5,598	6,076	5,881	96.8		
野球場	8,585	12,833	6,167	8,513	138.0		
テニスコート、多目的グラウンド、トレーニングルーム、パークゴルフ場	25,713	26,812	39,519	30,087	76.1		
(計)	68,942	74,489	81,124	62,994	77.7		
〔利用者の増減理由〕							
・各種大会開催数により各年の利用者に増減がある。 ・屋内、外ともに定期利用団体の減少と団体の会員数の減少により、1回当たりの利用人数が減少した。 ※前沢牛まつり、前沢夏まつりでの利用者（多目的グラウンド50,000人）は除いている。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	23,914,000	0	23,914,000	歳入	使用料	0	使用料	1,670,725	
	利用料金	1,481,880	0	1,481,880		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0	1,236,200	1,236,200		その他	169,336	その他	49,040	
	受取助成金・会費	0	2,007,000	2,007,000						
	雑収入	61,733	177,156	238,889						
	計	25,457,613	3,420,356	28,877,969		計(A)	169,336	計(A)	1,719,765	
	支出	人件費	11,912,914	1,005,000	12,917,914	※経常的 歳出	指定管理料	23,914,000	人件費	11,127,411
		報償費	0	1,020,247	1,020,247		委託料	990,000	委託料	3,739,845
		旅費	156,677	321,685	478,362		需用費	0	需用費	0
		需要費	7,522,381	950,808	8,473,189		その他	107,609	その他	6,934,887
		役務費	786,806	71,966	858,772		計(B)	25,011,609	計(B)	21,802,143
		委託料	3,566,297	0	3,566,297	支出(B-A)	24,842,273	支出(B-A)	20,082,378	
使用料及び賃借料		396,380	25,050	421,430	※臨時的 歳出	維持修繕費	1,719,850	維持修繕費	645,370	
租税公課		1,116,407	25,600	1,142,007		備品購入費	0	備品購入費	0	
資材費		190,880	0	190,880						
備品購入費		18,900	0	18,900		計(C)	1,719,850	計(C)	645,370	
計	25,667,642	3,420,356	29,087,998	支出(B+C-A)	26,562,123	支出(B+C-A)	20,727,748			
損益	△ 210,029	0	△ 210,029							

職員配置	常勤職員	4人	市の正職員	1人
	臨時・非常勤職員	3人	市の臨時・非常勤職員	4人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額	
	6,339,940	4,858,060	1,481,880	
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出	46.4%	R1年度 指定管理者損益	△ 210,029 円
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数	379.6 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕			△ 4,759,895 円	評価
	・20年度(直営)は専任の正職員を1名配置していたが、本制度の導入により専任職員をなくすことができ、職員定数削減及び人件費の抑制につながった。 ・H30にちびっこ広場の用途廃止に伴い、指定管理料282千円を減額している。	〔行革効果額の積算根拠〕				
			R1	H30	比較	
		直営支出額	20,082,378	20,082,378		0
		市支出額	24,842,273	24,685,846		156,427
効果額	△ 4,759,895	△ 4,603,468		△ 156,427	1	

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		4
自主事業	太極拳教室、コンディショニング&ピラティス教室、ノルディックウォーキング教室・ツアー、スポーツ吹矢教室、放課後いきいき子ども教室、ソフトテニスフェスティバル、かなづち水泳教室、前沢いきスポカップ（吹き矢、ソフトテニス、ビーチボール、カローリング、スマイルボウリング）大会、胆江地区小学生ソフトテニス選手権大会	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	専門業者への委託により適切に行われた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入したことを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	4
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	機関紙、チラシ、市広報等を活用して周知を図ったことを認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口等でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し迅速な対応が取られたことを認めた。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	最も自主事業に力を入れている体育館施設の一つである。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練、普通救命講習の受講をしたことを確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	投書箱の設置	
		調査結果	投書等なし	
	要望・苦情等	良好とする評価	なし	
		苦情・改善要望等	なし	
				3

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	2	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	2		
2 経費等の状況 (行革効果)	1		
3 事業の実施状況	4		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	4		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の特性を生かした自主事業の取り組みは、施設の設置目的でもある「健康、体力の増進（向上）」に貢献しており、今後の取り組みにも期待が持てる。 ・各講座のアンケートを行い、自主事業の更なる展開を目指すことを望む。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	利用者のニーズ把握などを目的としたアンケートなど、内容や方法を検討	実施したが投書の集計がなく、ニーズの把握に欠ける状況。	利用者のニーズ把握などを目的としたアンケートなど、内容や方法を検討

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	前沢グリーンアリーナ、前沢スポーツセンター	施設所在地	前沢地域
指定管理者名	特定非営利活動法人前沢いきいきスポーツクラブ	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	グリーン：活動を多様に行う機会を幅広く提供し、市民の福祉の向上に資する。 スポセン：地域住民の健康及び体力の増進に寄与する。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	体育館、テニスコート、グラウンドほか		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	前沢グリーンアリーナ	17,839	18,604	18,820	15,191	80.7	
前沢スポーツセンター	7,729	7,273	7,846	7,996	101.9		
(計)	25,568	25,877	26,666	23,187	87.0		
〔利用者の増減理由〕 3月の利用実績が特に下がっていることから、新型コロナウイルス感染症対策の影響と考えられるほか、トレーニング器具減少の影響も考えられる。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支				
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)		
					歳入	歳出	歳入	歳出	
収入	指定管理料	5,865,000		5,865,000	使用料		使用料	1,549,615	
	利用料金	1,207,800		1,207,800	賃貸料		賃貸料	0	
	自主事業		82,300	82,300	その他	909	その他	0	
	雑収入	393	45,700	46,093					
	計	7,073,193	128,000	7,201,193	計(A)	909	計(A)	1,549,615	
	支出	人件費	4,074,196		4,074,196	指定管理料	5,865,000	人件費	5,121,920
		需用費	1,784,651	44,916	1,829,567	委託料		委託料	516,694
		役務費	409,730	2,326	412,056	需用費		需用費	0
		委託料	929,369		929,369	その他	66,186	その他	4,075,716
		使用料・賃借料	45,408		45,408	計(B)	5,931,186	計(B)	9,714,330
租税公課		155,000		155,000	支出(B-A)	5,930,277	支出(B-A)	8,164,715	
その他諸費			80,758	80,758	維持修繕費	1,364,550	維持修繕費	163,025	
計	7,398,354	128,000	7,526,354	備品購入費		備品購入費	0		
損益	△ 325,161	0	△ 325,161	委託料		委託料			
				計(C)	1,364,550	計(C)	163,025		
				支出(B+C-A)	7,294,827	支出(B+C-A)	8,327,740		

職員配置	常勤職員	1人	市の正職員	1人
	非常勤職員	0人	市の臨時・非常勤職員	4人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	2,685,140	1,477,340	1,207,800

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	55.1%	R1年度指定管理者損益	△ 325,161円	評価
-----------	--------------------	-------	-------------	------------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	252.9円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	2
----------------	------------	--------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕 2,234,438円			評価
	本制度の導入により専任職員をなくすことができ、職員定数削減及び人件費の抑制につながった。	〔行革効果額の積算根拠〕			
			R1	H30	比較
		直営支出額	8,164,715	8,164,715	0
		市支出額	5,930,277	5,896,673	33,604
効果額	2,234,438	2,268,042	△ 33,604	4	

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	・一輪車講習会 ・スポーツ（屋内ソフトテニス）講習会 ・ノルディックウォーキング教室	○	未実施：一輪車講習会 ※未実施項目はあるものの積極的な事業展開を行っている	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	専門業者への委託により適切に行われた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	—		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	4
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	機関紙、チラシ、市広報等を活用して周知を図ったことを認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口等でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し迅速な対応が取られたことを認めた。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	積極的に事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練の実施を確認した。	○	

